

本部広報2014-056

2014年12月22日

年末年始、クルマのお出かけには万全の準備を！ 「バッテリー」「タイヤの滑り止め」「燃料」などのチェックで低温・雪道対策を

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 小栗七生）は、これからの年末年始、クルマでお出かけになる際に、ぜひチェックしていただきたいポイントをまとめました。JAFでは、この期間、トラブルによる救援依頼が増加することが予想されるため、体制を強化して対応することとしています。

■年末年始の救援出動はおよそ 9.6 秒に 1 件！バッテリー上がりが最多

昨年の年末年始期間（2013年12月28日～2014年1月5日）、JAFが出動した件数は、8万1245件にのぼり、これは、約9.6秒に1件の割合となります（2013年度年間では約12.5秒に1件）。

最も多い依頼は「バッテリー上がり」。気温が低いとバッテリー液の温度が下がり、バッテリーの能力も低下します。バッテリーは消耗品です。使用環境によって、劣化の進み方が大きく変化しますので、ガソリンスタンド、カーショップなどでのバッテリーチェックをおすすめします。

【参考】「データで見るロードサービス」→<http://www.jaf.or.jp/rservice/data/index.htm>

■タイヤの滑り止め(タイヤチェーン、スタッドレスタイヤ)

降雪地域や山間部の道路では、チェーン規制などが実施される場合があります。またお出かけ先で思いがけず積雪や凍結に遭うことも予想されます。お出かけの際は、タイヤチェーンやスタッドレスタイヤのご準備を。ご自分でスタッドレスタイヤに交換した時はナットの締め忘れにご注意ください。また、タイヤチェーン装着時のゆるみなどにもご注意を。



【参考】JAF ホームページ「練習しておきましょう。タイヤチェーンの付け方」

http://ch.jafevent.jp/detail.php?id=182_0_96252

■「燃料切れ」「燃料凍結」に注意

高速道路を走行する前には燃料の残量をチェックし、残り少ない場合は早めの給油をお願いします。

また、冬は「軽油の凍結」にも注意が必要。比較的温暖な地域で販売されている軽油を入れたクルマが、気温が低いスキー場などに長時間駐車した時などには、軽油（燃料）の流動性が失われ、燃料が噴射できずにエンジンがかからなくなることがあります。これは比較的温暖な地域で販売される軽油の規格（種類）には、凍結対策がなされていないためです。軽油の凍結を防ぐには、お出かけ先の寒冷地で給油する方法が最も簡単な方法です。ガソリンは凍結する心配はありません。

このリリースへの問い合わせは以下までお願いします。

一般社団法人 日本自動車連盟 広報部

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912

E-Mail: koho@jaf.or.jp URL: <http://www.jaf.or.jp/>

〒105-0012 東京都港区芝大門 1-1-30 日本自動車会館